

若年層にメッセージを届けるために

—高校生による高校生のための薬物乱用防止啓発資材づくり—

東部健康福祉センター

○大村奈央、服部晃大、神山晋太郎
黒見公一、久川祐稔

背景

薬物乱用の現状

- 管内の生徒によるオーバードーズ（OD）が複数発覚している。
- 大麻事犯による検挙人数は若年層を中心に増加傾向にある。

ライオンズクラブとの意見交換

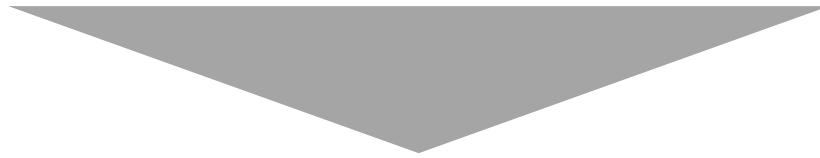
- 東部地区薬物乱用防止指導員協議会（事務局：東部保健所）では、毎年ライオンズクラブから寄附※を受けている。
- 寄附を受けている5クラブと意見交換をしたところ、現行の啓発資材で本当に若年層にメッセージが届いているかとの声があった。

※裾野、長泉、清水町、小山、御殿場の5つのライオンズクラブ合同

課題と目的

—課題—

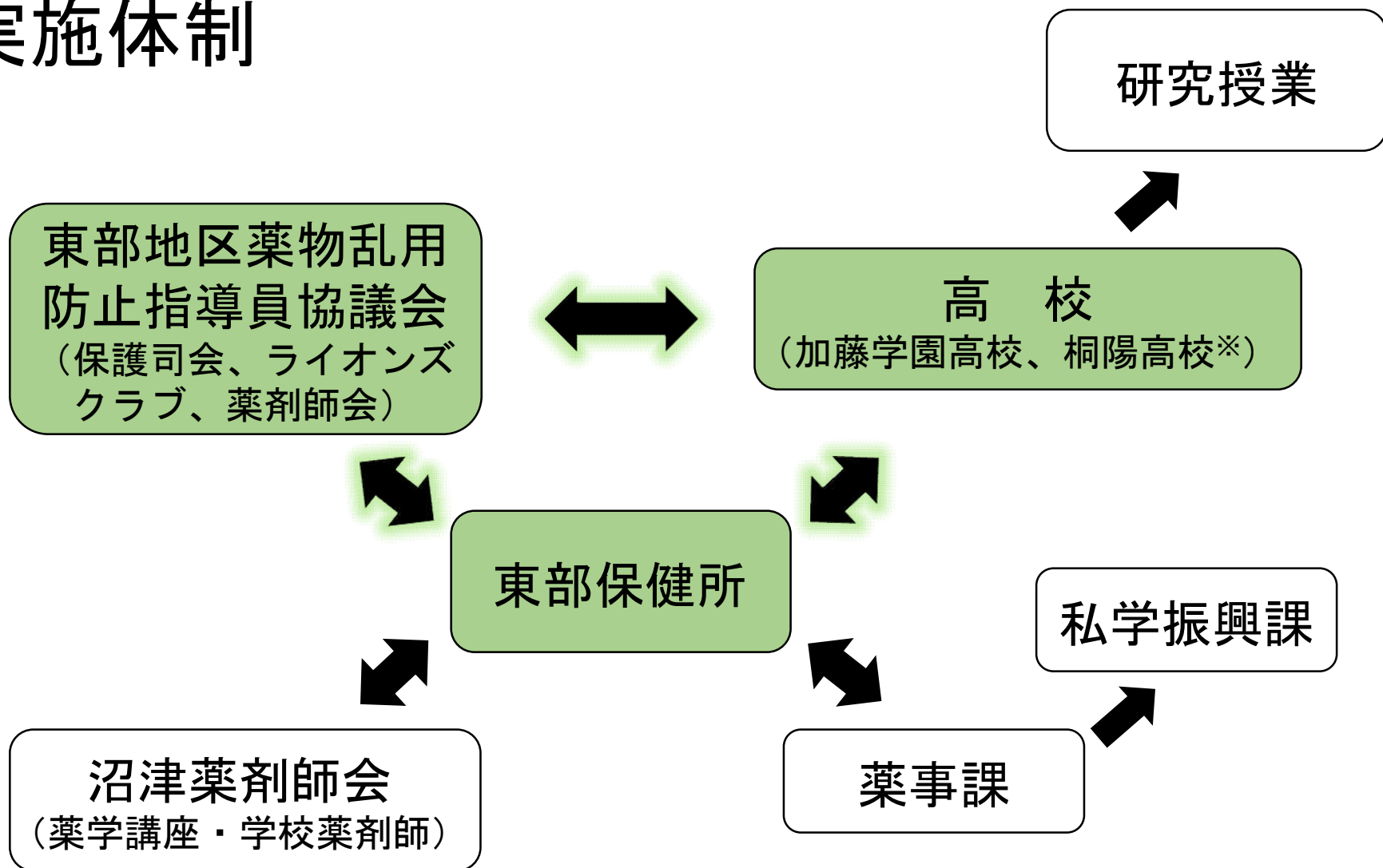
- 若年層に届く啓発とするための工夫が必要
- 啓発対象である若年層のことを理解しているか



—目的—

- 若年層に対する理解を深めること
- 若年層に刺さる啓発資材を作成すること
- 生徒に対する啓発とすること

実施体制



※加藤学園高校 (男子生徒3名、女子生徒2名)
桐陽高校 (女子生徒6名)

若年層について理解を深めるための取組

- ・ 高校生に対する事前アンケート
- ・ 高校生との意見交換

東部地区薬物乱用防止指導員
協議会会長も出席した
意見交換の様子



高校生に対する事前アンケート

「薬物」について

Q2 印象は？

よくないイメージ、危険、体に悪い、
日本では違法なもの、依存したら抜け出せない
幻覚・幻視になる、気をつけなければいけない 等

Q3 知っているものは？

大麻、覚醒剤、LSD、MDMA、シンナー、
コカイン、マリファナ

⇒ 薬物乱用に関する知識は十分有している。

高校生に対する事前アンケート

薬物乱用防止啓発活動について

Q4 街頭啓発やイベントを見かけたことはありますか。	①ある：6名 ②ない：5名
----------------------------	------------------

薬物・薬物乱用防止への関心について

Q6 検索したことはありますか。	①ある：4名 ②ない：7名
Q7 関連するサイトを見たことがありますか。	①ある：3名 ②ない：8名

⇒ 街頭啓発等のイベントが十分認識されていない。
薬物乱用問題について、必ずしも自分や身の回りのこと
として認識しているわけではない。

高校生との意見交換

【高校生から出た主な意見】

- **街頭啓発**はまず勧誘かアンケートを疑うため、**近づかない**。
高校生と一緒に活動していると、怪しまないし、興味を惹く。
- 高校生が頻繁に目にするのは**電車内のポスターやYoutube等のネット広告**。
- ティッシュは必要なときにもらえるとうれしいけど、
街頭で配っていたら、避けて去っていく高校生は多いと思う。
- **QRコードが載っていても**（興味があることでさえ）**アクセスしない**。
興味があることはググる。文字が多くなると読む気を無くすが、
必要な情報は啓発資材に載せておいた方がよい。
- 薬物乱用防止に関するポップな曲（耳に残るフレーズの曲）があっても
よいのではないか。
- **アニメチックなデザイン**のリーフレットだと**1度は目を通すかもしれない**。
- **ネガティブな表現の方が、ダメと言うことは伝わる**が、啓発資材に載っているのはいやだ。

⇒ 若年層に合った啓発方法や使用する資材を検討することで
より効果的になる可能性がある。

若年層に刺さる啓発資材の作成（進め方）

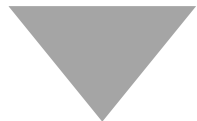
資材

どんなものを啓発資材とするか



デザイン

資材にどんなデザインをのせるか



実現可能性

予算や実用化を検討し、発注先を決定

- 各段階の検討がまとまるごとに打合せを実施した。
- 既存啓発資材やリーフレット、参考資料を配付し、薬物乱用に関する学びの場とした。

啓発資材の作成（桐陽高校①）

【啓発資材】 ウエットティッシュ

【選んだ理由】

- ・ 使い切るまでの期間が長く、視界に入る機会が多い
- ・ ポケットティッシュより実用性が高く、珍しい

【デザインのコンセプト】

- ・ 近年問題になっているODを意識したデザイン
- ・ 一目見ただけでわかりやすいデザインと配色

【感想】

- ・ 薬学講座で話を聞くだけではなく、自分たちで何かを作ることで自分から調べるきっかけになった。身近なものとして捉えることができた。



啓発資材の作成（桐陽高校②）

【啓発資材】 消しゴム

【選んだ理由】

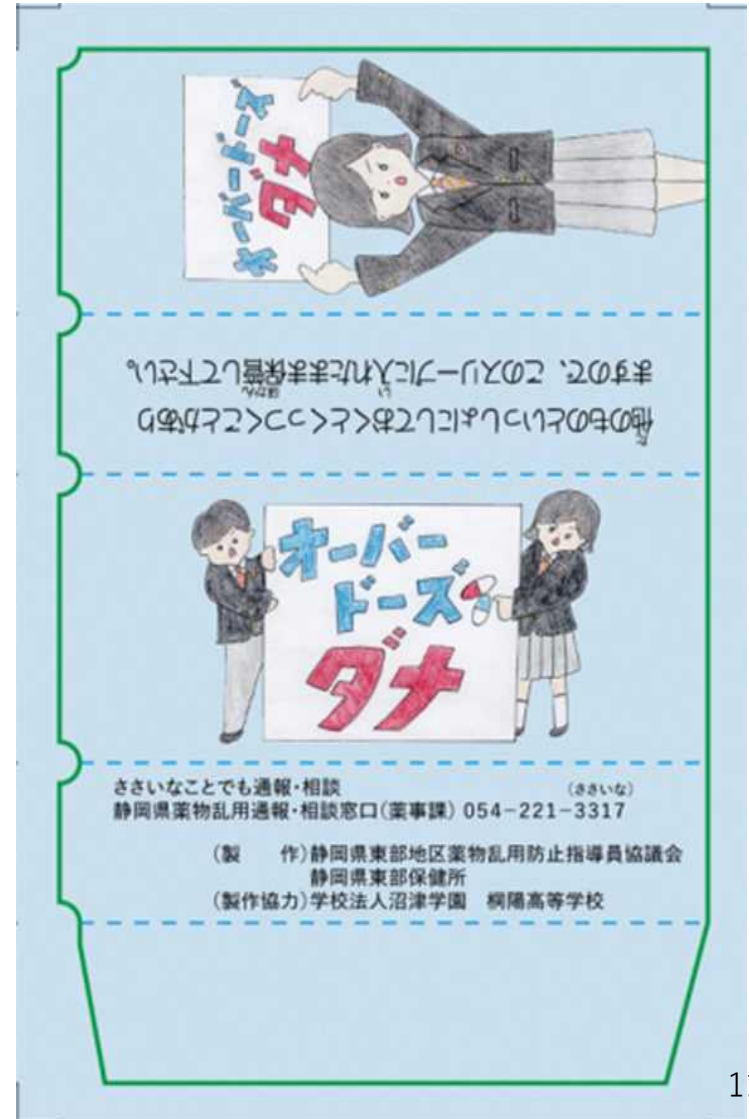
- ・ 長期間使えるし、毎日使うのでデザインを目にしやすい

【デザインのコンセプト】

- ・ ODについて学生を中心に伝えるため、制服を着たデザインにし学生の目にとまるようにした
- ・ 多くの人が一目でわかるようにした

【感想】

- ・ 薬物を理解することに時間がかかり、それが一番大変だった。



啓発資材の作成（加藤学園）

【啓発資材】除菌シート

【選んだ理由】

- ・コロナで消毒への意識が高まり、持ち歩くことが多い
- ・ポケットティッシュよりありふれていない

【デザインのコンセプト】

- ・薬物を使ってはいけないことを伝えたい。
- ・一目見ただけでわかるデザイン（キャラクターは大麻の葉の形）
- ・色々な人が手に取りやすいユニークなデザイン

【感想】

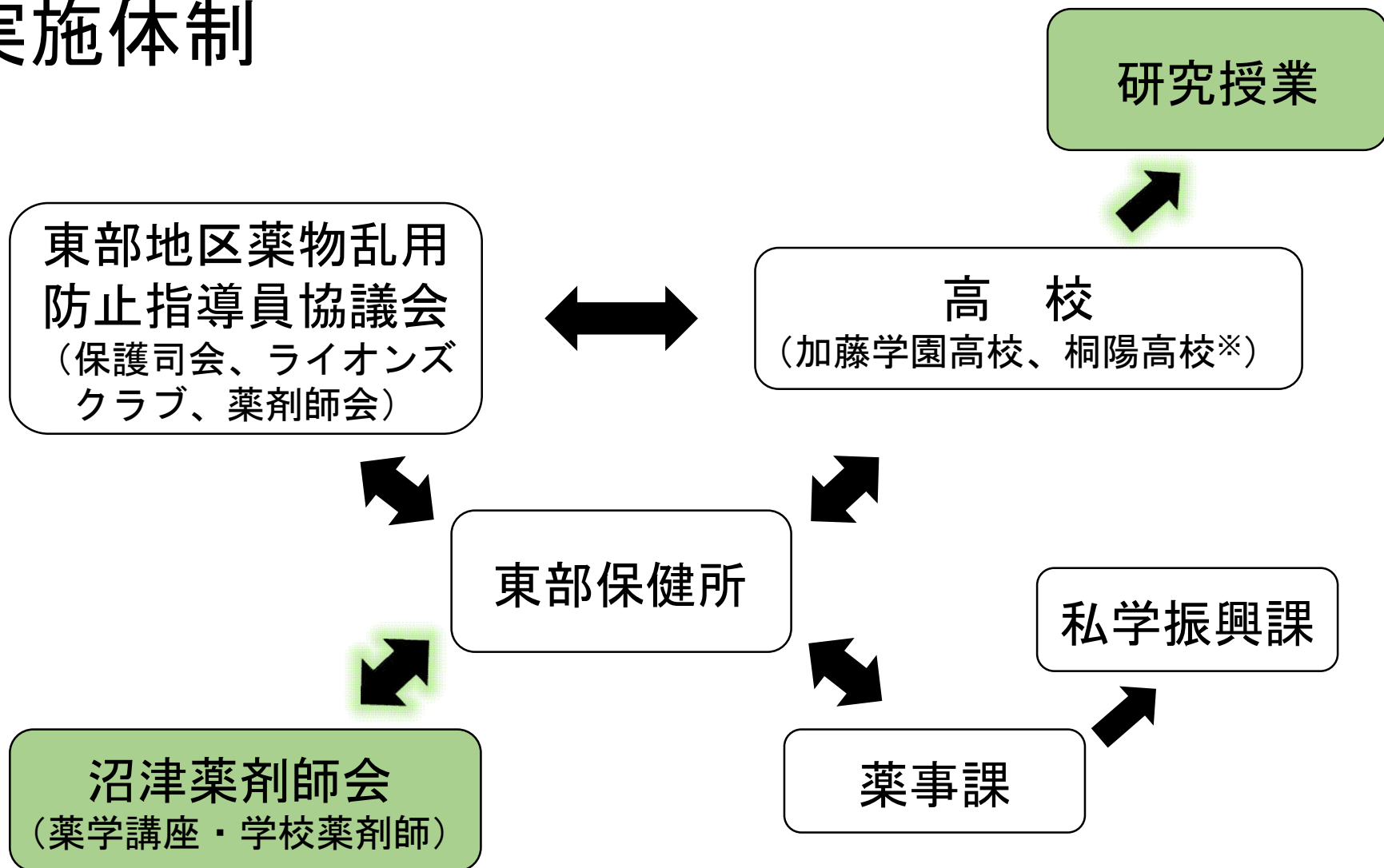
- ・啓発資材を作成するために薬物乱用について調べたり考えたりすることで、薬物乱用問題に関する理解が深まった。
- ・参加していない生徒にも意見を聞いたりしたので、みんなで作り上げた感覚がある。



本取組を通して得た知見等

- 若年層と直接コミュニケーションを取ることで、若年層の考え等を知ることができた。
- 若年層は薬物に対する知識は十分有しているが、身近な問題とは捉えられていなかった。
- 若年層にとって受け取りやすい資材や好まれるデザインがある。
- 啓発資材だけでなく、啓発活動の仕方についても検討することで、より効果的になり得る。

実施体制



※加藤学園高校 (男子生徒3名、女子生徒2名)
桐陽高校 (女子生徒6名)

沼津薬剤師会・高校の研究授業

沼津薬剤師会へのアプローチ

- 本取組を校内の他の生徒に紹介する方策の1つとして、薬学講座で取り上げることを両校の学校薬剤師に相談
- 学校薬剤師を取りまとめる担当者に、薬剤師会内で本取組を紹介してもらうよう依頼

高校の研究授業

- 本取組を校外に発信する方策を高校に相談
- 加藤学園高校の保健体育科の研究授業※で、生徒がODについて考える授業を行ってもらえることになった。
- 多くの教員に薬物乱用問題に触れてもらう機会になった。

※1年生に対する授業を県東部（富士、富士宮以東）の高校（公立・私立）の校長、教頭、保健体育の教員約80名が見学して講評する授業¹⁵

まとめ

- より効果的な取組を検討する上で、啓発対象についての理解を深めることは重要である。
- 今回のような取組を行うことにより、若年層自身に薬物乱用防止に関する理解を深めてもらう機会にすることができる。
- 薬剤師会や学校を巻き込んで取り組むことにより、周辺地域に波及させることができ得る土壌（環境）があることがわかった。

今後の予定

- 今回作成した資材を使い、協力いただいた生徒及び東部地区薬物乱用防止指導員と街頭啓発を行う。
- 校内で今回の取組について紹介してもらうことにより、他の生徒への啓発につなげる。
- 今後も若年層が薬物乱用防止に関する取組に接する機会を増やせるよう、協議会と連携して検討していく。